

(様式1)

# 個別施策評価調書

主管部	都市計画部	
関係部	建設部	生活環境部
	市民部	

基本施策	II-7 魅力ある居住・交流環境を創出する
個別施策	① 住環境の整備
個別施策の方向	つくばの特性をいかした緑豊かな景観の保全を図り、だれもが安心して生活し、快適に住み続けることのできる質の高い居住環境の整備を図る。また、つくばエクスプレス沿線地区においては、都市機能と自然、知的な環境が調和した魅力的なまちづくりを推進する。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)										
H27年度	決算	事業費	33,075	人件費	44,953	事業コスト	78,028			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	20,300	その他特財	0	一般財源
H28年度	決算	事業費	125,971	人件費	50,651	事業コスト	176,622			
	事業費内訳	国庫支出金	5,032	県支出金	0	地方債	96,500	その他特財	2,177	一般財源
H29年度	決算	事業費	105,356	人件費	40,653	事業コスト	146,009			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	80,300	その他特財	2,004	一般財源
H30年度	決算	事業費	201,107	人件費	51,621	事業コスト	252,728			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	169,500	その他特財	356	一般財源

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	67.5%	69.6%	2.1%
11) 住宅環境			

平成30年度つくば市行政経営懇談会 評価結果	
総合評価	B 施策について成果が確認でき、更に向上させるために一部改善が必要であると判断される。
提言	<p>空き家が日本全国で大きな問題になっている中、有効な空き家対策について、思いつく限りの方策を考えて積極的に取り組まれない。</p> <p>また、所有者が不明の土地についても、住環境整備という観点から対応が必要と思われることから、所管課と連携して対策を練られたい。</p> <p>環境美化運動については、市民の満足度調査等を踏まえると、非常に満足度も高く、向上している所以の一定の成果が見られるが、場合によっては、参加者がある程度限定されてきている可能性もある。より一層の普及拡大という点から、参加者をふやす努力を今後も進められたい。</p> <p>施策全体として十分事業は進行していると思われるが、より一層創意工夫を踏まえて遂行されたい。</p>

<b>施策の 取組概要</b>	<p>景観緑地の設置に向け、土地所有者と地上権設定契約を締結し、景観緑地を設置するとともに、緑地の整備・管理を行う管理組織の支援を行う。また、景観協定締結に向けた指導と締結された場合の認可を行うほか、景観見学会やきれいなまちづくり実行委員会の開催により、市民の景観及び環境美化活動への意識の向上を図る。</p> <p>つくばエクスプレスの駅周辺や道路沿い、区会集会所などの公共的な空間を季節の花で飾り、その維持管理をすることで、市内の環境美化とともに、来訪者への歓迎の気持ちを発信する。</p> <p>管理不全な空家等の所有者等に助言、指導を行うとともに、特定空家等庁内調査委員会や空家等無料相談会のほか、有効活用施策として、空家バンクの運営や空家活用シンポジウムを開催する。</p> <p>さらに、費用負担協定に基づき、つくばエクスプレス沿線開発の土地区画整理施行者が行う都市計画道路の整備分に要する費用の一部を市が負担することで、つくばエクスプレス沿線のまちづくり事業の円滑な推進を図る。</p>
<b>施策の 成果</b>	<p>新たに2地区の管理組織の設立や、76区画の地上権設定契約の締結により、景観緑地のあるまちづくりを進めるとともに、地域の実情に応じてきめ細やかな基準を設けた景観協定を新たに3つの地域に対して認可することによって、景観形成に一定の効力を与えるとともに、安定性及び持続性を与えた。</p> <p>市民参加型のきれいきれい大作戦の開催や市民協働による花壇等の維持管理を通して、つくばの景観をより豊かにし、地域コミュニティと環境美化意識の醸成を図ることができた。</p> <p>つくばエクスプレス沿線まちづくり事業については、都市計画道路（市道）の整備に要する費用の一部負担を行った結果、円滑な土地区画整理事業の推進が図られた。</p> <p>管理不全な空家等の所有者等への行政指導等は遅滞なく実施し、地域の生活環境の悪化を防止した。また、空家等無料相談会や空家活用シンポジウムの開催により、空家等の有効活用施策を推進した。</p>
<b>課題と 改善目標</b>	<p>景観緑地のあるまちづくりについては、地上権設定契約率の向上が課題となっているため、管理組合と連携し、未同意区画における土地所有者の同意の取組を進める。</p> <p>花と緑の美化活動では花苗等の配布を希望する団体が増加しており、より多くの団体の希望を受けられるように事業の見直しや調整を図る。</p> <p>また、著しく管理不全な空家等について、特定空家等庁内調査委員会での審議を経て、必要な措置を講じる。さらに、空家バンク制度の登録物件が少なく、利用希望者のニーズに応えられない状況を改善するため、登録物件の蓄積を図る周知方法及び支援制度を検討する。</p>

<b>自己評価（所管部署評価）</b>		
<b>自己評価</b>	B+	施策について成果が確認でき、さらなる向上が期待できると判断される。